

令和8年度 シラバス

科目	単位数	学年					
芸術(音楽Ⅰ)	2単位	第1学年					
教科書番号・教科書名		副教材					
音楽Ⅰ 027/教芸 027-901 MOUSA1		音楽通論、ミュージックノート					
学習の目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のように育成する。1. 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。2. 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。3. 主体的・協動的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。						
評価の方法	①知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度				
	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 ・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 ・様々な表現形態による、歌詞表現や器楽表現の特徴について理解している。	・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことについて考え、自己のイメージをもって歌唱、器楽、創作表現を創意工夫している。 ・曲や演奏に対する評価とその根拠、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	・主体的・協動的に歌唱・器楽・創作・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。				
学習計画及び評価方法							
学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法		
					①	②	③
第1学期	4	音楽視野の拡大	翼をください、負けないで	曲種に応じたさまざまな発声の方法について学び、それを歌う。	◎		○
	5	①さまざまな発声にチャレンジ ②楽譜の読み方、いろんな国の音符の読み方	群青、O Waly Waly、Ave Maria、校歌 楽典	楽譜の正しい読み方を身につけ、表現に生かすようにする。	○	◎	
	6	イタリア歌曲の楽しみ 器楽曲の鑑賞	オーソレミオ、Calo mio ben 動物の謝肉祭	曲の性格をとらえ、それぞれにふさわしい表現になるように工夫する。 C・サンサーンスについて学び、楽曲を鑑賞する。	◎ ○	○ ○	○ ◎
	7	1学期のまとめ	歌唱テスト 合唱練習(南苑祭発表)	・期末考査、歌唱テスト等を受ける。 ・9月初めに行われる学校祭(南苑祭)で発表する合唱の練習	◎	◎	◎
第2学期	9	ハンドベルアンサンブルの楽しみ	星に願いを、エーデルワイス、花は咲く、いつも何度でも、ホールニューワールド	・ハンドベルの正しい奏法を身につけ、曲を演奏する。パートの役割を理解して、音色の特徴を考え、それを生かしながらアンサンブルをすすめる。 ・ハンドベルアンサンブルのDVDを鑑賞し、自分たちの演奏に生かす。	◎ ○ ○	○ ○ ◎	○ ◎ ○
	11	アンサンブルのまとめ 歌の楽しみ (日本歌曲)	アンサンブルの発表 まちぼうけ、この道、外郎売り	・練習の成果をしっかりと人の前で発表する。 ・曲の性格をとらえ、それぞれにふさわしい表現になるよう工夫する。	◎	◎	○
	12	2学期のまとめ	歌唱テスト	・期末歌唱テストを受ける。	◎	○	○
第3学期	1	大作曲家の作品に触れる 歌の楽しみ (ドイツ歌曲)	交響曲第25番、アイネクライネナハトムジーク 野ばら(ハイデンレースライン)	・W・A・モーツァルトについて学び、楽曲を鑑賞する。 曲の性格をとらえ、それぞれにふさわしい表現になるように工夫する。	◎	◎	◎
	2	(卒業式の合唱曲)	栄光の架け橋	・ハーモニーを感じ取りながら合唱する。	◎	○	○
	3			・歌詞に込められた内容が聴き手に伝わるように歌う。	◎	○	○